

特集

# 身近に新発見あるかも

## 新型コロナ禍 さてどう研究する?!

### 恐竜調査隊が行く

岡山理科大恐竜学博物館館長 石垣忍



「学問は足でするもの」  
私の好きな言葉です。机の前で本を

読んだり、ネットで調べることも大事ですが、よく理解しようと思ったら、足を運ばないとだめだよという事です。現場へ行って、物や人に会うことがとても大事。「ほんもの」に会えば、理解が深まり、人に会えばつながりができ、好奇心が目を覚まし、心の中で

何か動いて、次の行動を起こす勇氣が出てくるものです。

そういうことを授業で何度も学生に話してきました。  
ところがコロナ問題！ 遠くへ行ったり人に会ったりできなくなっていました。  
どうしよう。私は近頃、つまりいま足を運べるところに行くことにしまし



岡山理科大の恐竜学博物館の標本庫にあったコリトサウルスの頭部(下あごは外しています)。骨を再検討し、新しいことがわかってきました。えっ？ 何がわかったの？ それはこれからのお楽しみ

### まめちしき 豆知

北海道の「カムイサウルス」も、博物館の標本庫で保管されていた骨の一部を、たまたま研究者が見たことが新発見につながりました。「恐竜の骨だ」ということで、出た場所を発掘したらほぼ全身が出てきたんです。こんなこともあるんですよ。

た。で、今は大学構内にある地層や岩石、現在の植物、そして鳥を調べています。

眠っていた標本類を調べ始めた研究者もいます。たとえば30年前にアメリカで発見されたこの恐竜化石。私たちの博物館の標本庫の中にあつたのですが、現在、うちの大学の研究者が改めて研究し、おもしろいことがわかってきそうです。ちなみに、化石の新発見は、標本庫の中からということが時々あるんですよ。

皆さんもコロナを機会に、自分のすぐ近くに足を運んで、観察(学問)を始めたいかが？ 家の中の昆虫。庭の雑草。道端の石ころ。恐竜好きにおすすめはツバメやカラス(彼らも恐竜ですよ)。今は遠くの大きな博物館へは行けないですから、少しコロナが落ち着いたらまずは地元の博物館に行ってくださいね。「もう行ったことがある」だって？ いえいえ、何度行ってもきつと新しい発見がありますよ。

### 動画も楽しもう

石垣忍館長のメッセージは左のQRコードから。

